

# 暑中お見舞い申し上げます

## ご挨拶

理事長 大野 風 柳

酷暑が続きますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

さて、今年の第37回全日本川柳2013年青森大会では地元の各川柳社がひとつになって、すばらしい内容の濃い大会にしてください、心から感謝とご苦労様を申し上げます。

参加人数の多かったことはもちろん、見事な運営とサービスは参集された人たちに大きな感動を与えてくれました。

私は大半は舞台裏に居り、裏方さんの厳しいまでの行動を拝見いたしました。それは実に爽やかで、しかもピンと張りつめた緊張が心地良く伝わってきました。本当にご苦労様と申し上げます。

# 日川協通信 (107)

平成25年8月1日



一般社団法人全日本川柳協会

〒530・0041 大阪市北区天神橋一丁目

北一一一九〇五

電話 (06) 63352122

FAX (06) 63352124

振替口座 009701913575

<http://www.nissenkyou.or.jp>

今年の四月一日から、一般社団法人全日本川柳協会と改称し出発しました。会長制から理事長制となり、私も気分的に若返らせていただきます。

そのひとつとして近く発表されますが、当協会後援・公認イベント『孫の日川柳コンテスト』をイオンモール株式会社・イオンリテール株式会社で行うこととなりました。審査を日川協理事で行ない10月20日(日)孫の日に東京で発表・表彰式が行われます。

更に川柳の社会進出ということで、来々年の8月に川柳の原点である柳多留250年を記念する「柳多留発祥の地記念碑の建立、柳多留250年式典・講演・句会開催、柳多留250年川柳展・ツアー」等の計画を後援するなど、川柳界だけに限らず社会への企画の後援も進めております。

皆さんの積極的参加をお待ちしております。ますます暑さもつります。くれぐれもご自愛ください川柳の活動に励まれることを祈っております。

# 青森大会を終えて

副理事長 久保田 半蔵門

美味めえものいっぱい、青森さ来いえ！と呼びかけた全日本川柳協会主催の青森大会は、6月8日（土）の前夜祭（青森グランドホテル）、6月9日（日）の本大会（文化会館大ホール）と2日間に亘って催された。

心配された天候も上々で、タイムスケジュール通りに無事終了することが出来たのは、青森の大会実行委員会の皆さんの1年前からの周到なる準備とシミュレーションを繰り返し行ってきた成果だと思う。改めて心から感謝したい。

問題といえば、前夜祭に於いて突然の参加者が多数に亘り、その受付と準備に手間取ったことと、本大会においては昼食会場が4階と5階にあり、エレベーターで上下する不都合があった程度で、方言川柳作家・渋谷伯龍氏がふる里言葉で話をされた講演は、会場を笑いの渦に

巻き込み、山上進氏の津軽三味線を中心に構成されたアトラクション「津軽蒼蒼」もその迫力で会場を魅了した。

川柳関係のプログラムもスムーズに進行し、次回開催地の富山県の紹介を中に挟み、文部科学大臣賞以下の表彰も含めて、無事10分前に閉会することが出来た。

改めて、青森実行委員会の皆さんと大会にご参加いただいた皆さんに御礼申し上げる次第です。

日川協では川柳の普及向上を目的として、毎年1年間に出版された川柳個人句集のうち、もつとも優れた川柳句集に対して「川柳文学賞」を授与しています。

**7学** 平成25年1月から12月末日までに刊行した句集

**第文** 6冊及び同句集の概要説明書を平成26年1月末日までに当協会の「川柳文学賞」選考委員会宛にお送りください。

**川柳** 沢山のご応募お待ちしております。

平成25年度 第2回 理事会

東西合同常任幹事会 (六月九日)

通常総会

場所 〓リンクステーションホール

定足数の確認のあと議事録署名者選出

〈大会連続出席者〉

連続10回参加

菱木 誠・大森 隆子

西村 正祐

連続20回参加

植木 利衛・植木 紀子

〈マスコミ柳壇の指導を10年以上行つた者〉

三浦 強一

- 第1号議案 平成24年度事業報告の件
- 第2号議案 平成24年度収支決算報告  
監査報告及び承認の件
- 第3号議案 新理事・常任幹事選出の件
- 第4号議案 平成26年度 全国大会開催  
の件
- 第5号議案 青森全国大会表彰の件
- その他

〈第9回80歳以上の功労者顕彰〉

佐藤 良子・平井 吾風  
田中八洲志・板尾 岳人  
田口麦彦

ジュニア部門  
「りんご」 岩崎 眞里子 選  
「森」 春木 圭一郎 選  
「自由に作る」 駒木 一枝 選

理事會 議案  
第一号議案 役付理事の選任の件  
その他

〈第6回川柳文学賞〉

正賞 「第三の男」 阪本 高士  
準賞 「イヤリング」 山本希久子

右の議案案件について審議の結果、理事會、総会で承認された。

第37回青森大会選者

第一部 事前投句選者

(順不同・敬称略)

「りんご」 熊谷 岳朗 選  
「森」 濱本 耀子 選  
「海 峡」 てじま 晩秋 選  
「北」 宮本 仙舟 選

第二部 当日投句選者

「まぼろし」 江畑 哲男 選  
「遺 跡」 長島 敏子 選  
「恐れる」 田辺 進水 選

竹本 瓢太郎・本田 智彦  
岡崎 守・津田 暹  
西出 楓楽

第二次選者(順不同・敬称略)

# 一般社団法人全日本川柳協会役員

## 常任幹事

理事長 大野 英雄（風 柳）  
（順不同・敬称略）

副理事長 竹本 正秀（瓢太郎）・久保田茂三（半蔵門）

常務理事 磯野 勇（いさむ）・本田 智彦（智彦）

大木 俊秀（俊秀）・岡崎 守（守）

河内 權治（天笑）

理事 佐藤 政彦（岳俊）・平田 朝子（朝子）

赤井 二郎（花城）・津田 暹（暹）

雫石 隆子（隆子）・松代 章弘（天鬼）

平山 繁夫（繁夫）・小島 和幸（蘭幸）

佐藤 美文（美文）・井原 満子（みつ子）

監事 天根 利徳（夢草）

相談役 尾藤 三柳

顧問

河村 建夫・田辺 聖子・池井 優

大谷 晃一・川村 恒明・三好 正也

林 えり子・塩見 草映・清水 厚実

## A 1 地区

大橋 政良・辻 晚穂・浪越 靖政

## A 2 地区

佐藤 古拙・高瀬 霜石・舘岡 稲風・長谷川酔月

渡辺 松風・熊谷 岳朗・あきたじゅん・西 恵美子

仁多見千絵・駒木 一枝・山田 昇

## A 3 地区

植木 利衛・太田紀伊子・酒井 青二・篠崎 紀子

高鶴 礼子・てじま晚秋・花道 歌子・松岡恵美子

渡辺 梢・篠田 東星・荻原 柳絮・田中寿々夢

江畑 哲男・及川竜太郎・太田ヒロ子・平井 吾風

堀江 加代・米島 暁子

## A 4 地区

安藤 紀栄・安藤 波瑠・いしがみ鉄・大川幸太郎

小金沢 綏子・こぎぞせいでう・齊藤由紀子・島田 駱舟

鈴木 国松・竹田 光柳・田中八洲志・西潟賢一郎

尾藤 一泉・廣島 英一・三井 良雄

A 5 地区

荻原美和子・金子美知子・堀井 勉・渡辺 貞勇

今田 久帆

A 6 地区

玉島よ志子・中沢久仁夫・大野風太郎・川合 笑迷

菅原孝之助・二宮 秀三・山倉 洋子・石田 一郎

B 1 地区

砂田 勝行・酒井 路也・濱本 耀子・久崎 田甫

B 2 地区

鈴木 順子・奈倉 楽甫・小林 映汎・鷺見 敏彦

宮村 典子

B 3 地区

小梶 忠雄・植野美津江・大楠 紀子・土田 欣之

宮田 宜子・川上 大輪・三宅 保州

B 4 地区

赤松ますみ・池 森子・板尾 岳人・川端 一步

高田美代子・竹森 雀舎・伊達 郁夫・田中 螢柳

田中 新一・長江 時子・西出 楓楽・西山春日子

松本初太郎・森中恵美子

B 5 地区

奥田みつ子・長島 敏子・村上 氷筆・矢沢 和女

B 6 地区

新家 完司・鈴木 公弘・春木圭一郎・牧野 芳光

竹治ちかし

B 7 地区

恒弘 衛山・淡路 猓眠・角本 華峰・久保 青花

弘兼 秀子・三浦 宏・大場 孔晶・宮本 仙舟

B 8 地区

土橋 旗一・上甲 満男・田辺 進水・平井 丹波

小笠原 望・竹崎たかひろ

B 9 地区

梅崎 流青・古谷龍太郎・菖蒲 正明・永石 珠子

田口 麦彦・安永 理石・進藤すぎの・国吉司凵子

平成24年度収支計算書 収入の部  
(平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
<b>I 事業活動収入</b>				
1. 基本財産運用収入	<b>【10,000】</b>	<b>【26,831】</b>	<b>【△16,831】</b>	
基本財産利息収入	10,000	26,831	△ 16,831	
2. 入金収入	<b>【24,000】</b>	<b>【24,000】</b>	<b>【0】</b>	
柳社入会金	21,000	21,000	0	7社×¥3,000-
個人入会金	3,000	3,000	0	1名×¥3,000-
3. 会費収入	<b>【5,676,000】</b>	<b>【5,714,000】</b>	<b>【△38,000】</b>	
理事会費	432,000	432,000	0	18名×24,000-
常任幹事会費	2,976,000	3,000,000	△ 24,000	125名×24,000-
正会員会費 (団体)	2,184,000	2,198,000	△ 14,000	314社×¥7,000-
正会員会費 (個人)	84,000	84,000	0	12名×¥7,000-
4. 事業収入	<b>【12,108,000】</b>	<b>【12,238,434】</b>	<b>【△130,434】</b>	
全国大会	6,000,000	6,025,304	△ 25,304	徳島大会
写真名鑑	3,048,000	3,080,000	△ 32,000	
国民文化祭	2,050,000	2,054,080	△ 4,080	
表彰後援事業	170,000	239,050	△ 69,050	色紙・ホームページ入力
選考協力事業	840,000	840,000	0	企業川柳選考費
5. 助成金収入	<b>【7,630,000】</b>	<b>【7,717,057】</b>	<b>【△87,057】</b>	3団体
6. 寄付金収入	<b>【250,000】</b>	<b>【250,000】</b>	<b>【0】</b>	
7. 雑 収 入	<b>【0】</b>	<b>【451,639】</b>	<b>【△451,639】</b>	
退職給付取崩益	0	451,639	△ 451,639	
当期収入合計 (A)	25,698,000	26,421,961	△ 723,961	
前期繰越収支差額	0	△ 21,795	21,795	
収入合計 (B)	25,698,000	26,400,166	△ 702,166	

平成24年度収支計算書 支出の部  
(平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
II 事業活動支出				
1. 事業費支出	【18,218,000】	【18,111,840】	【106,160】	
臨時雇賃金	1,620,000	1,539,242	80,758	
旅費交通費	1,850,000	1,848,240	1,760	
通信運搬費	1,960,000	1,955,376	4,624	
消耗品費	250,000	254,682	△ 4,682	
借損・設営費	780,000	780,608	△ 608	
印刷製本費	4,800,000	4,639,103	160,897	
保険料	48,000	47,850	150	
諸謝金	1,530,000	1,460,000	70,000	
表彰後援費	870,000	1,079,510	△ 209,510	
広告宣伝費	30,000	30,000	0	
実行委員会運営費	4,480,000	4,477,229	2,771	
2. 管理費支出	【6,395,000】	【6,208,772】	【186,228】	
給料手当	3,800,000	3,741,780	58,220	
福利厚生費(慶弔)	45,000	43,380	1,620	
会議費	180,000	196,849	△ 16,849	
旅費交通費	200,000	151,080	48,920	
通信運搬費	180,000	179,507	493	
消耗品費	220,000	239,336	△ 19,336	
光熱水科費	120,000	117,392	2,608	
賃借費	1,220,000	1,212,876	7,124	
火災保険料	20,000	10,050	9,950	
法定福利費	30,000	29,087	913	
接待交際費	10,000	11,500	△ 1,500	
雑支出	370,000	275,935	94,065	
3. 退職給付引当資産取得支出	【150,000】	【0】	【150,000】	
4. 固定資産除却損	【0】	【0】	【0】	
5. 予備費支出	【0】	【0】	【0】	
当期支出合計 (C)	24,763,000	24,320,612	442,388	
当期収支差額 (A) - (C)	935,000	2,101,349	△ 1,166,349	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	935,000	2,079,554	△ 1,144,554	

以上、決算報告書を監査した結果、正確妥当であることを認めます。

監 事 住田英彦   
 監 事 天根利徳 

# 第 37 回 全日本川柳 2013 年 青森大会

(当日 658 名 / 事前 2,004 名 / ジュニア 5,527 名)

## 文部科学大臣賞

人間の森に絆という根っこ

広島 田辺与志魚

## 参議院議長賞

縄文の遺跡に眠る津軽の血

青森 柳田 健二

## 川柳 大賞

仮の世の愛憎劇が終わらない

北海道 浪越 靖政

## 大会 賞

世に媚びてリングは甘くなるばかり

宮城 山田 純一

海峽を越えて出直す箸二膳

愛知 河合 正秋

北国へ神は豪華な春贈る

兵庫 福田 好文

つぶやきを吐く少年の海峽よ

青森 千島 鉄男

向きを変え北風になるのははの鞭

茨城 岡 さくら

ケータイが鳴る幻想の原っぱで

岩手 柳清水 広作

海峽に突き出た岩が僕である

青森 む さ し

百色の絵の具と暮らす北の四季

秋田 斉藤 豊康

草原の風は土偶の歌である

青森 む さ し

渴くのが怖くて海の底にいる

青森 須藤しんのすけ

どんぐりの森が広がる子の履歴

青森 千島 鉄男

## ジュニア部門

### 青森県知事賞

植じゆしたなえ木元気な森になれ

山口 椿東小5 宮田 明香

### 青森市長賞

りんごにもぼくにもかたい芯がある

青森 佐井中2 松谷 拓人

### 青森県教育長賞

親じの背高すぎるけどきつとこす

北海道 銭函中2 北 海斗

### 全日本川柳協会賞

なりたいな歯ごたえのある人間に

広島 佐方小6 大井 優希

森の中迷えばいつも友がいる

青森 蓬田中1 川崎 留依

一本の木になりたくて入る森

千葉 幕張中3 岡崎しおり

### 教育新聞社賞

さおしなる魚とオレのつな引きだ

広島 佐方小6 大田 竜平

りんごがねおちるとこんらんするんだよ

青森 浅瀬石小2 佐藤 慶太

また君を見る目の先アイツだ

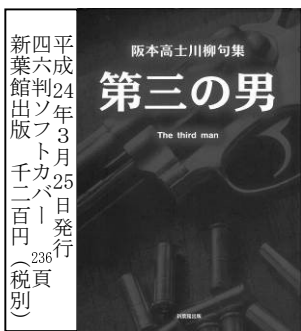
青森 佐井中3 中村樹美佳



## 第6回川柳文学賞受賞作品

正賞 『第三の男』 阪本 高士  
準賞 『イヤリング』 山本希久子

阪本高士氏



二〇一三年六月八日、青森県・青森グランドホテルにて授賞式が行なわれ、平山繁夫選考委員をはじめ、多数の川柳家にお集まりいただき、賞状、盾と副賞10万円が、受賞された阪本高士氏に手渡されました。また、今回より導入された準賞を受賞された山本希久子氏には賞状、盾、副賞3万円が手渡されました。

第6回川柳文学賞は平成24年に発刊された句集のうち、申請

のあった15冊を選考委員（久保田半蔵門・平山繁夫・雫石隆子・林えり子（作家））4名（敬称略）が選考しました。

### ■ 総評 選考委員・平山繁夫

全日本川柳協会主催の第6回川柳文学賞の選考が終わった。今回より準賞が導入され、未来への展望が整ったと言えるだろう。

正賞は阪本高士氏の『第三の男』（新葉館出版刊）、準賞は山本希久子氏の『イヤリング』（美研アート刊）であった。

『第三の男』を一位に推した久保田半蔵門氏は「現代川柳はイメージーション[imagination]の時代で、その感性と進取性を見出す」と言い、三位に推した平山は「表現方法の巧緻と類推的な暗示の方法論」を指摘している。

準賞の『イヤリング』を二位に推した平山は「生活の意味を日常から掬い上げ、観念世界を拒否、感動そのものへ連結させた」と述べた。三位に推した雫石隆子氏は「日常を出ないものであったが、平均的な作品で安心感がある」と評価した。今回の作品は視覚的な表現を避け、人間の永遠性、高貴性を追求する高次な知性的空間が存在した。それは人間の全人格を表現した真実像と言えるかもしれない。

次に惜しくも善戦した候補作品を挙げる。

淡路 猿眠『鬱川柳』

藤田 峰石『旅路六十年』

田村ひろ子『夢のしっぽ』

玉井たけし『片時雨』

共選は各選者の一致は困難である。文芸は個性と感情の堆積を核とするものであるからである。

石原慎太郎の芥川賞選考委員の辞意表明は、老いと若さの思想断裂、石川啄木の処女詩集『あこがれ』について三木露風の激賞に対し、日夏耿之介の反論に見るように、評価についての差異は、その難解さを表明している。

#### ＋■ 主な掲載作品『第三の男』

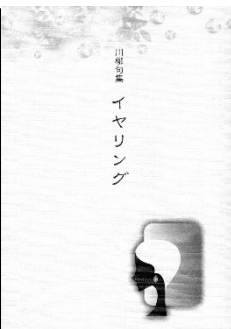
- ・ 一冊の漫画と男街を出る
- ・ 蝉しぐれ間違い電話二度かかる
- ・ 病院をにぎやかに出る秋時間
- ・ 美しい男と法に触れたがる
- ・ コスモスの首をはねてる待ちぼうけ
- ・ 縁日の金魚と三年目を生きる
- ・ 村の鍛冶屋で戦争は十字架になった
- ・ 一年ぶりに本が帰ってきた春日
- ・ ふるさとを二つ持つてるペンネーム
- ・ いい話壊れて花火見えています
- ・ 弟がキラキラ横穴掘っている

- ・ 神かくしの話が落ちている岬
- ・ あじさいの淋しい彩と和解する
- ・ 地下鉄の終点に咲く彼岸花
- ・ 素うどんを二つ夜逃げの話など
- ・ ゴミの島の向こうにアメリカが見える
- ・ 帰ってきた罎に紐がついている
- ・ 夏の絵を食べてしまったキリギリス
- ・ ダンボールのお家に住んでいるサンタ
- ・ 友だちの影を時々踏んでいる
- ・ 青いバラ一輪王様に背く
- ・ いろいろと都合があつて黒になる
- ・ 暑いのでどつちに曲がろうかきゅうり
- ・ 七月の雲を挿んでいるクレヨン
- ・ 夏まつり何かなくしてきたようだ
- ・ 大丈夫ボク等は途中下車をした
- ・ ビロードだった頃を想っている炎
- ・ 大勢の前で短所を褒められる
- ・ 無駄なこと大好き猫を抱えている
- ・ 折鶴が千羽いくさに参加する

阪本高士氏 略歴

現在、やまと番傘川柳社会長

山本希久子氏



平成24年5月3日発行  
B6判ハードカバー  
美研アート 203頁

■ 主な掲載作品『イヤリング』

- ・ 妻でない母でない日のイヤリング
- ・ 絵の中の母がだんだん小さくなり
- ・ さくら咲く何も競わず羨まず
- ・ 傷だらけの原発黒い息を吐く
- ・ 友達を救えて森へ来てしまう
- ・ 泣く人がいる空はこんなに青いのに
- ・ わたくしのカルテの冬が終らない
- ・ 現役のまま桜は散りました
- ・ ひと言が多くてひと言が足りぬ
- ・ 政治不信へ遠吠えをするばかり
- ・ がむしゃらに生きて加齢の波に濡れ
- ・ 桃に傷ゆつくり地球温暖化
- ・ 細い雨みんな味方でみんな敵

- ・ 骨拾う箸には詫びることばかり
- ・ 雑念と雑用わたしに付きまとう
- ・ とりあえず磨いておこう明日の靴
- ・ 笑って笑って私の毒を吐きだそう
- ・ 好きな本と好きな時間に好きな椅子
- ・ 雨やどりほどの仮の世生きている
- ・ 残照のすてきな時間朱に染まる
- ・ 私の天 洗濯物がひるがえる
- ・ 夏の出口でふっと昔の風に会う
- ・ 育ったら視野から消えた子の翼
- ・ 踏まないで下さい袋出たばかり
- ・ あきらめることばかりなり大根煮る
- ・ 底冷えの街で段差にけつまずく
- ・ すりばちの底に家族という絆
- ・ 積乱雲に囲まれながら生きている
- ・ 童心にかえると見える花の彩
- ・ てのひらののぞみこぼさぬよう走る

山本 希久子 氏略歴

昭和10年1月3日生まれ  
 昭和62年2月 毎日新聞川柳教室入門  
 平成3年 川柳塔社同人  
 平成21年 川柳塔社参与  
 平成22年 NHK学園通信講座講師

# 平成25年度 80歳以上の功労者略歴

(敬称略)

福島県 佐藤 良子



昭和6年5月7日生  
川柳三日坊主吟社創立主幹、福島民友新聞選者、NHK福島放送局(くらしの文芸)選者

「二人のひとり旅上・下」、「よっちゃん」自伝エッセー「時代のふしめにー私の半生」、「旅は道連れ句は情け①②③④」、句集「旬」

千葉県・平井 吾風



昭和6年2月9日  
福岡県大牟田市生  
昭和22年4月、兄、中村五酔の勧めで作句開始。昭和28年10月ふあうすと同人。

ほうふら川柳社 創立会長  
千葉県川柳作家連盟 会長(現顧問)

ふあうすと川柳社 副主幹  
平成19年 千葉県文化功労賞受賞

東京都・田中八洲志



昭和4年11月26日  
長野県生まれ  
柳歴63年  
平成5年より、日川協常任幹事。  
現在、川柳かつしか吟

社 会長、川柳人協会 副会長、川柳向島 主幹、葛飾川柳連盟 会長、東京都川柳長屋連 大家などを務める。  
平成14年川柳文学賞受賞  
葛飾区、江戸川区 各3回表彰される。

大阪府・板尾 岳人



昭和6年12月12日生  
昭和34年 川柳雑誌(麻生路郎) 入門  
平成元年 河内長野市川柳教室を創立(長柳会) 講師

平成11年 朝日カルチャーセンター川柳教室(はじめの川柳)

平成12年 川柳塔社理事長、平成17年日川協常任幹事、大阪川柳人クラブ副会長、平成18年 川柳塔社 相談役  
主な著書 句集「金剛山」「板尾岳人全集」

熊本県・田口 斐彦



昭和6年8月29日  
アメリカ生まれ。  
日本大学法学部卒。  
熊本県川柳協会会長、川柳噴煙吟社副主幹。

日本文藝家協会会員、全日本川柳協会常任幹事、熊本県文化懇話会 顧問、西日本新聞「ニュース川柳」選者、NHK熊本文化センター講師。第18回三條東洋樹賞、第22回熊本県文化懇話会新人賞等受賞。『三省堂現代川柳必携』にて第23回熊日出版文化賞受賞。

著書に『川柳とあそぶ』『元気が出る川柳』『現代川柳必携』『現代川柳鑑賞事典』『現代女流川柳鑑賞事典』『現代川柳入門』『川柳表現辞典』『穴埋め川柳練習帳』『笑福川柳ほのぼの傑作選』『地球を読む川柳的発想のスズメ』『フォト川柳への誘い』『アート川柳への誘い』など。  
日本現代詩歌文学館 評議員

# 全日本川柳誌上大会のご案内

## (平成柳多留第17集)

日本の全柳人が、だれでも、どこからでも参加できる「全日本川柳誌上大会」(平成柳多留第17集)を開催します。日川協年次大会・国民文化祭文芸大会と並ぶ(一社)全日本川柳協会の権威ある三大自然行事ですので、こぞってご参加ください。

一般社団法人 全日本川柳協会

理事長 大野 風 柳

出版委員長 河内 天 笑

### 課題と共選者 (各題2句・連記)

「ライバル」 小金沢 綏 子 — 宮 村 典 子 共選

「食 べ る」 堀 江 加 代 — 久 保 青 花 共選

「世 界」 浪 越 靖 政 — 伊 達 郁 夫 共選

「灯 す」 植 木 利 衛 — 長 江 時 子 共選

「 箱 」 今 田 久 帆 — 村 上 氷 筆 共選

第二次選者 本 田 智 彦 津 田 暹 佐 藤 美 文  
永 石 珠 子 大 西 泰 世

参 加 費 2000円 (投句料・『平成柳多留』第17集代金含む)

賞 平成柳多留賞・川柳大賞・NHK会長賞  
(社)日本青少年育成協会会長賞・全日本川柳協会賞  
全日本川柳誌上大会賞 (予定)

締 切 平成26年1月31日(金)〈当日消印有効〉

発表・表彰 第38回全日本川柳富山大会 (平成26年6月)

参加方法 参加用紙(雑詠1句)と出句用紙に記入し、参加費2000円  
(振替又は小為替)とともに下記へご送付ください。

〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1-11-905

一般社団法人 全日本川柳協会

電 話 (06) 6 3 5 2 - 2 2 1 0

F A X (06) 6 3 5 2 - 2 4 3 3

振替口座 0 0 9 7 0 - 9 - 3 5 7 5

## 今後の全国大会予定

### ▼富山

平成26年6月29日(日)

富山国際会議場

### ▼千葉

平成27年6月

## 今後の国民文化祭予定

### ▼山梨

平成25年10月27日(日)

甲府市総合市民会館

### ▼秋田

平成26年10月19日(日)

サンルーラル大潟

### ▼鹿児島

平成27年秋

## 川柳人のための連続セミナー(ご案内)

一回目 9月26日(木) 13:00～16:30

川柳会(人)に役立つコンピュータの活用方法

二回目 10月31日(木) 13:00～16:30

公募川柳 そのブームの背景を探る

三回目 11月28日(木) 13:00～16:30

より深く川柳を学ぼう!

四回目 12月19日(木) 13:00～16:30

川柳(界)の未来を考える

〔場所〕日本工業大学神田キャンパス3F多目的ホール(東京メトロ神保町駅下車、徒歩2分)

### 〔参加費と申込方法〕

① 参加費は、全4回通して6千円です。全回通しての受講を基本としますが、単発の申込も受け付けます。単発のお申込の場合は、1回2千円になります。

② 申込方法は、事務局(江畑哲男)まで。

〒270-1108 我孫子市布佐平和台5-1-1-3

江畑方連続セミナー事務局 宛て

FAX 04(7189)6226

メールアドレス [tt@msg.biglobe.ne.jp](mailto:tt@msg.biglobe.ne.jp)

## 編集後記

★ことしは暑中見舞いを実感させてくれる夏だ。熱中症も多発して死者も例年になく多いデータが出ているとか。

★日川協も公益法人になって二十年を過ぎたが、4月から公益法人改正で一般社団法人となった。

★去る6月9日の青森大会は各柳誌の感想を読んでも好評で、久保田副理事長も述べている。(P2参照) 現地の実行委員の皆様、本当にご苦労様でした。

★5年に一度の写真名鑑発行により、休んでいた誌上大会(平成柳多留)の募集が始まりました。目標の二千人を目指して、皆様のご参加をお待ちしています。

★この秋開催される国民文化祭やまなし(甲府)の参加の方もよろしく願います。

(事務局長 本田智彦)